

ISO認証取得事業所の取り組み

千葉畜産工業(株)

社長名:斎藤 道久
環境管理責任者名:玉井 厚樹
ISO14001認証取得日:2000年3月31日

ISOの認証を取得して以来、エネルギー使用量や廃棄物の削減などを中心とした環境保全に取り組んできました。今後も環境負荷の大きい部署を重点的に、引き続き環境負荷の削減に取り組んでいく考えです。

【2002年度の主な取り組み】

原材料の受入形態の変更による廃棄物削減
原材料として使用する醤油などを受け入れる際に使用する一斗缶は、潰したり切ったりして減容し廃棄していました。この一斗缶をくり返して使用できる“ 通いタンク ”に切り替え、一斗缶の廃棄をなくすとともに、処理の手間やコストも削減することができました。

社有車の廃止によるCO₂の削減
二酸化炭素(CO₂)の発生量を削減するために、社有車2台を廃止。通勤は送迎バスを運行しています。



醤油の通いタンク

(株)ニチレイフーズ山形工場

工場長名:和田 秀実
環境管理責任者名:濱田 康生
ISO14001認証取得日:2000年12月22日

2002年度は、環境保全の重点テーマ7項目のうち、悪臭防除、廃棄物の削減と適正処理、事業廃水の水质維持に焦点を当て、「既存設備を用いた廃水処理法の変更」を実施しました。この取り組みによって、ニチレイフーズで実施している体質改善活動において社長賞を受賞しています。

【2002年度の主な取り組み】

廃水処理方法変更による臭気対策
2001年度に、悪臭によるクレーム(1件)が発生したことを受けて、新たな廃水処理方法を導入し、臭気の原因だった廃水処理施設の一部装置の運転を停止。それにより臭気に関するクレームはゼロとなり、運転時の騒音もなくなりました。また運転使用電力、廃水処理に使用している薬品、脱水ケーキの削減にもつながりました。

【2002年度実績】

脱水ケーキの削減 1999年度比68%削減
脱水ケーキ: 廃水処理設備で発生した汚泥を脱水したものを。



廃水処理施設での作業風景

TOPICS

山形県より「環境保全推進賞」を授与される

山形県内の食品企業として初めてISO14001の認証を取得し、脱水ケーキ発生量の削減、リサイクル率の向上などの環境保全活動に取り組んできたことなどが評価され、2002年6月13日、山形県環境保全協議会より「環境保全推進賞」を授与されました。

4年度山形県環境保全協議会通覧総会



表彰式

「環境保全推進賞」の賞状

(株)ニチレイフーズ船橋工場

工場長名:大内山 俊樹
環境管理責任者名:篠原 龍浩
ISO14001認証取得日:2001年3月26日

環境負荷の低減とともに、工場周辺の美化活動など、地域環境の整備や改善にも積極的に取り組んでいます。

【2002年度の主な取り組み】

社会貢献活動

毎月1回「環境の日」を設け、工場内外の美化活動を実施(年間参加総人数542人)したほか、船橋市主催のクリーン船橋530(ゴミゼロ)運動に参加しました(実施回数2回、参加総人数110人)。

最終処分廃棄物の削減

使用原材料の包装資材をリサイクル化が容易な材質に変更したり、野菜類が付着して焼却していたビニール袋をきれいに洗浄してリサイクルしました。また、製品の包装資材の歩留アッ

プに取り組み、廃棄包装資材を削減したほか、ピラライン工程での設備改善などにより、最終処分廃棄物を削減しました。

【2002年度実績】

最終処分廃棄物

2001年度 458.6トン 2002年度 285.5トン



クリーン船橋530運動

(株)ニチレイフーズ白石工場

工場長名:片山 博視
環境管理責任者名:菅原 勝之
ISO14001認証取得日:2002年4月26日

ISO認証取得元年となった2002年度は、地域社会との共生をテーマに、地域の環境保全活動にも積極的に参加しました。また、地球環境保全の重要課題であるCO₂の削減にも注力し、工場内動力燃料の使用量削減活動を推進しました。

【2002年度の主な取り組み】

フリーザー適正運転による電力使用量の削減

立ち上げ時間の短縮

フリーザー内が温度設定値に到達してから庫内に製品が入ってくるまでの時間的ロスをなくすことで、余分な使用電力を削減することができました。

過剰運転時間の排除

フリーザー内の温度テストを実施し、適正な運転時間を割り出す

ことで、過剰凍結および冷気の無駄使いを排除しました。

【2002年度実績】

2001年度562kWh/t 2002年度504kWh/t(10.3%削減)



制御盤に掲げられた適正運転の指示看板

(株)ニチレイフーズ高槻工場

工場長名:植田 文弘
環境管理責任者名:荒木 一三
ISO14001認証取得日:2001年6月22日

省エネ・節水活動はもとより、重点施策として廃棄量の削減および分別(最終処分含む)を徹底し、さらなるリサイクル化を推進するとともに、地域社会との共生に努めています。

【2002年度の主な取り組み】

エコハウスの設置による廃棄物の管理の推進

ラインの増設により廃油量が増加したことを受けて、2003年3月に廃棄物置き場であるエコハウスを設置(幅10.8m×高さ2.2~3.6m×奥行5m)。リサイクル可能な廃プラスチック類置き場と併設することにより、分別廃棄を強化し、リサイクル率の向上と最終処分となる廃棄物の削減を図っています。

【2002年度実績】

リサイクル率 90.5%

最終処分廃棄物量1999年度比47.6%削減

地域との共生

月1回工場内外の地域清掃活動(毎回15名前後が参加)

美化活動キャンペーンへの参加(年1回)

摂津峡水辺の生き物観察会の水質調査に参加(年1回)

エコハウスの設置

分別廃棄物の強化

リサイクル率の向上

最終処分廃棄物の削減

地域社会との共生

美化活動

生き物観察会

水質調査

エコハウスの設置

分別廃棄物の強化

リサイクル率の向上

最終処分廃棄物の削減

地域社会との共生

美化活動

生き物観察会

水質調査

エコハウスの設置

分別廃棄物の強化

リサイクル率の向上

最終処分廃棄物の削減

地域社会との共生

美化活動

生き物観察会

水質調査

エコハウスの設置

分別廃棄物の強化

リサイクル率の向上

最終処分廃棄物の削減

地域社会との共生



エコハウス

(株)ニチレイフーズ博多工場

工場長名:穴田 馨一
環境管理責任者名:大隈 敏雄
ISO14001認証取得日:2003年1月24日

地球環境と共生し、地域社会に貢献する良き市民を目指して、環境保全活動を推進しています。2002年度は事業所内の廃棄物や最終処分廃棄物量の削減、リサイクル化などに取り組みました。

【2002年度の主な取り組み】

分別強化による最終処分量の削減

事業所内の廃棄物の分別保管場所を明示した「分別配置図」を作成し、作業エリアごとに掲示。廃棄物分別の運用ルールを周知徹底するとともに、廃棄物の分別管理担当者を配置し、廃棄施設の管理を強化しました。

【2002年度実績】

最終処分廃棄物量 2001年度比 60%削減
(動植物性残さを除く)

環境法規遵守システムの構築
環境法規チェックシートおよびリストを作成し、チェックを実施しました。



分別ごみ箱

関西日冷(株)高槻事業所

所長名:大杉 洋
環境管理責任者名:田畑 英夫
ISO14001認証取得日:2001年6月22日

ニチレイフーズ高槻工場とともに、ISO14001に基づく環境マネジメントを推進するとともに、従業員が一丸となって周辺地域の環境保護活動に参加しています。さらに今後は、資源保護のためのリサイクルシステムの構築も視野に入れた環境保全活動を推進していく考えです。

【2002年度の主な取り組み】

アイドリングストップによるNOx削減と騒音防止

当事業所が展開する低温物流事業では、貨物の入出庫のために出入りするトラックから排出されるNOxと騒音が主要な環境課題となっています。その対策として、トラックのドライバーにアイドリングストップのはたらきかけをしたり、夜間の構内への進入・駐車を禁止しました。

【2002年度実績】

入庫トンあたりのNOx排出量 1999年度比9.3%削減



アイドリングストップをはたらきかける構内表示

(株)ニチレイフーズ長崎工場

工場長名:古澤 和幸
環境管理責任者名:清水 明憲
ISO14001認証取得日:2003年4月25日

食品工場の命とも言える水は、多良岳山系の豊潤な水資源を活用していることから、工場内での廃水浄化を徹底するとともに、水使用量の削減を目標とした環境保全活動に取り組んでいます。また、廃棄物に関しても、「廃棄物を出さない」「廃棄物を作らない」「廃棄物にしない」を合言葉に、分別、リサイクルを積極的に推進しています。

【2002年度の主な取り組み】

廃棄物のリサイクル化の推進

当事業所は長崎県の定める多量廃棄物排出事業所(1,000トン以上/年)であること、また従来の廃棄物の抑制・削減活動だけでは最終処分量の削減に限界があることなどから、

分別基準書を作成し、分別の細分化によって紙類のリサイク

ル化を推進しました(紙類のリサイクル率93.1%)。

ビニール手袋のリサイクルを推進しました(2003年3月末までに使用した148kg全量をリサイクル)。



紙類の分別ボックス